

切り



練り



婦 負 の 野



〒930-0143
富山県富山市西金屋6682番地
社会福祉法人めひの野園
TEL.076-436-0270
発行責任者 中田 匡
(表題書)
高岡市中川上町3の31
(故) 社浦 荻水先生

食す



そば打ち体験教室

12月10日(日)、めひの野園「春の苑」において、利賀村の新そば粉を使って、そば打ち体験教室を実施しました。利賀村「うまいもん館」の米倉ご夫妻、私と仲間2名が指導に当たりました。参加された利用者さんは20名、DVD鑑賞後の食事のみの参加者は30名でした。

最初は初体験のため緊張気味でしたが「練り」の工程に入ると、粘土遊びを思い出したのか表情が和らいだように感じました。包丁での「切り」の作業は多少心配でしたが、うどん、きしめんの太さで慎重に切っていました。いよいよ茹で上げて食べる頃には、表情が一段と明るくなり、食後のほっとした笑顔が印象的でした。

全麵協「そば道憲章」の中に、『私たちは、そば打ちを広め、仲間と共に地域づくりに努めます』という一文があり、社会に貢献することを求められています。「富山そば研究会」は現在会員数75名。月に2回の例会の他に、2月の利賀村そば祭、ゴールデンウィーク春祭り、劇団スコット国際演劇祭、山祭り等、利賀村の地域活性化に協力しています。また、県内の高齢者福祉施設や障害者施設、子供達のそば打ち体験ボランティアに参加し、地域社会への貢献と技術の向上を図っています。

そばのつながりは、人のつながり。多くの方に手打ちそばの美味しさを味わっていただければ幸いです。

(富山そば研究会 澤田 勇)

めひの野園の今日のニュースと明るい明日を紹介します!

あしたのめひの

第6回

「みしまの工房」
「自閉症者の日常活動に
大切なこととは」「職住分離」と「構造化」により、安定した日中活動を
提供したいと語る酒井主幹Q. どの利用者さんも生き生きと作業に
取り組んでいますね?— みしまの工房は「生活介護事業所」で、
利用者さんは複雑な作業が難しい方が
ほとんどです。でも、利用者の「出来るこ
と」「好きなこと」「得意なこと」や、自
閉症ならではのこだわりを作業に結び
付けることを心掛け、完成度の高い作業
をこなしています。「自分のやるべきこ
と」や、「毎日のスケジュール」が整って
いることで、生活のリズムが整い、安定
した日中活動を送っているように思い
ます。Q. 職員は利用者に対してどのような働
きかけをしていますか?— 複雑な作業をすることは難しい利
用者さんたちですが、出来ることを見つ
け、それを作業に繋げていきます。基本
となっているめひの野園のモットーは
「やって見せてあげる、見守ってあげる、
待つてあげる」。各サークル活動には、そ
の道のプロを講師に招き、「本物の技」を
見せてもらい、その技を学ぶことが出来
るようにしています。そして、それをど
のような商品に仕上げるのか、職員の手
工芸分野の専門性も重要になってきます。
昨年、クリスマス商品として製作した
ビーズのツリーが好評でした。これまで
も「ビーズ通し作業」が得意な利用者さ
んはいましたが、それを活かす方法を思
い付かずしていました。そんなときに手芸
教室の吉田先生がクリスマスツリーに
仕上げる方法を教えて下さったのです。
アイディア一つでヒット商品が誕生し
た素敵な瞬間でした。

利用者がコツコツ通したビーズで作った「クリスマスツリー」

Q. みしまの工房で取り組んでいる「自
閉症に特化した支援」はありますか?— まず、「職住分離」があげられます。
自閉症の方にとっては「生活の場」と「日
中活動の場」をしっかり切り替えること
が大切で、これがうまく出来ないとい生活
のリズムが狂い、昼夜逆転といったこと
が生じてしまいます。「うさか寮」で生活
する利用者さんが、少し時間をかけて
「みしまの工房」に通って、日中作業を行うという、当たり前のように思える日常
のリズムが、利用者さんにとっては大切
なことだと考えています。もう一つは作
業場所の「構造化」です。みしまの工房で
は、4つの作業班それぞれの部屋の入り
口や下箱を色分けし、自分の作業ス
ペースを分かりやすくしています。
また、「パーテーションの設置」や「作
業スケジュールの提示」によって、利
用者さんは自分が今すべきことに安心し
て取り組めるようになっていきます。作業場を色分けするなど、利用者が
分かりやすい構造になっている

Q. 今後の課題と展望は?

— みしまの工房では、昨年大規模修繕
工事を終え、ハード面での環境はますま
す整ったと言えます。今後はさらに「構
造化」を進めるなど、環境を活かすため
の職員の専門性が問われると思っています。「いつも同じ」が得意な自閉症の皆さ
んですが、今後は出来ることが増えるこ
ともあれば、加齢と共に出来なくなるこ
ともあるかもしれません。その変化に気
づき、細かな調整をしながら、いつでも
快適な環境を提供し、「やりがい」のある
作業提供が出来る事業所でありたいと
思っています。



多くのお客様で賑わった「りんどう祭」。昼時ともなればこの行列

2017

りんどう祭

〜ここでもしか味わえない特別メニュー〜

特別な唐揚げをあなたに！

地域の皆様との交流が一層深まることを願って開催されている「りんどう祭」。11月3日（金・祝）に開催された2017年度りんどう祭は、天候に恵まれ、爽やかな青空の下、多くの方に足を運んでいただき今年も大盛況となりました。

さて、今年で36回目を迎えたりんどう祭。回を重ねるごとに新たな模擬店メニューや出店者が増えてきました。すると「品揃えが多すぎて迷っちゃう」という声もちらホラ。そこでお勧めしたいのが「りんどう祭だけのオリジナルメニュー」です。

他のイベントでは味わうことのできない特別な一品をあなたに！

「ウォーム・ワークやぶなみ」の看板メニューと言えば「飛騨地鶏の串焼き」。その美味しさは様々なイベントに引っぱりだになるほどで、もちろんりんどう祭でも大人気です。そんな飛騨地鶏肉を使った別のメニューが、りんどう祭でしか味わうことが出来ない絶品なのです。

数年前から販売されてきた「飛騨地鶏の唐揚げ」。毎年のように味を変え、試行錯誤を繰り返してきました。「去年、来場者から好評で、園長も絶賛されたことでやっと手ごたえを感じました」と語るのは、ウォーム・ワークやぶなみの寺岡主幹。決め手となったのは、味噌をベースに豆板醤を加えたピリ辛味。「ついに『これだ！』という味が完成しました」とのことです。

もう一品は、「飛騨地鶏の炭火焼き」。「飛騨地鶏の美味しさを引き立てる料理はないかと模索していたところ、ある居酒屋で宮崎の『じとっこ』に出会いました」と語るのはウォーム・ワークやぶなみの上田指導員。「お店の方に作り方を教えていただき、『飛騨グルメグランプリ』に出品したところ大好評だったので、

りんどう祭でも提供することにしました」とのこと。地鶏本来の旨味を生かすため、味付けは塩のみ。「鶏油（チーユ）」が風味の決め手だとか。そのおいしさで、販売してすぐに売り切れになってしまいました。お買い求めはお早めに！

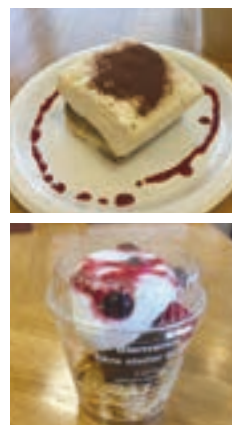


美味しそうな音を上げてカラッと揚げた「飛騨地鶏の唐揚げ」

特別なケーキをあなたに！

「やねのうえのガチョウ」の石田指導員は、実は元イタリアンシェフ。りんどう祭の喫茶コーナーで味わえる「ティラミス」と「ガトーショコラ」は、「15年前に試行錯誤して作った」という自慢の品。「ケーキへのこだわりもありますが、ソ

ースやコーヒーとの相性も考えて作っています」というプロならではのスイーツです。「手がかる品なので、今のところ店舗での販売は出来ないのが実情です」と話すのは石川主任。当分の間、りんどう祭でしか味わうことが出来ないようです。



やねのうえのガチョウ特製ティラミス(上)とガトーショコラ(下)

「その他」でくくってしまうのはもったいない逸品をあなたに！

昨年まさかの（失礼！）大好評だった、営業・販売課の「豚汁」。ありふれたメニューのようで、寒い季節にはもってこいの一品でした。それに加えて「あんばやし」も昨年に続き登場。こちらも屋台などで定番ながら、温かいコンニャクに甘辛い味噌が、心をほっこり温めてくれます。

来年は、また新たな「りんどう祭」でしか味わえない特別メニューが生まれるかもしれません。お楽しみに！



昨年に続き登場！営業・販売課の「あんばやし」

CASE 1

体育館

1985年、様々な苦勞の末ようやく完成し、利用者の余暇活動や各種イベントに活躍してきた体育館も、30年以上の年月を経て老朽化が目立つてきました。なかなか点灯しない昔ながらの水銀灯、雨漏りする屋根。そこで昨年、大規模修繕工事が行われました。すると、「何というこ

とでしょう！」
屋根は葺き替えられ、それまでの雨漏りが嘘のよう。水銀灯はLED照明になり、ビーチボールバレーの練習では眩しいほどに。さらに、外観は温かみのあるサーモンピンク色に塗り替えられました。「見学者からは、『こんなに立派な体育館があるのは珍しい』と言われる」と語るのは東施設長。「今の職員にとっては体育館があるのは当たり前のように感じるかもしれないが、感謝の気持ちを忘れず、これからも大事に使っていこう」と思いを語りました。



BEFORE



AFTER

めひの大規模修繕工事!

劇的

ビフォー・アフター

CASE 2

みしまの
工房

2001年に完成したみしまの工房も、老朽化のため外壁の汚れや空調設備の故障が目立つてきました。そこで昨年修繕工事を行ったところ、「何ということでしょう!」
外壁は明るいオレンジ色に塗り替えられ、雨だれによる汚れを防ぐためのひさしが取り付けられました。さらに、エアコンは新調され、より快適に作業に取り組むことが出来るようになった。



AFTER



BEFORE

群竹
muretakeめひの野園職員の
雑感コーナー梨の木苑
松村 実華

私は犬が好きで、自宅でも柴犬を飼っている。名前は「あんず」。今年で2歳になる。私から近寄り、添い寝をし、鬱陶しがられるくらい可愛がついているが、愛犬のほうから寄ってくることは滅多にない。もちろん愛犬が番だが、よその犬も可愛い。散歩をしている犬を運転中に見かけると、思わず「可愛い!」と二人で言ってしまうくらいだ。

今では犬好きな私だが、昔は大嫌いだった。幼いころは近所の犬が飛びついてきただけでも怖くてよく泣いていた。ところが小学校3年生のある日、柴犬に似た雑種の野良犬が現れ、なぜか家族に馴れ、玄関から出るといつも家の前に居るようになった。最初は怖かったが、暫くすると少し触れるくらいになった。それから2週間ほど経ったある日、登校時に私たち姉妹の後を追いかけて、妹の教室まで乗り込んでしまうということがあった。それが問題になり、その日のうちに保健所に連れていかれる事になってしまった。学校が終わるとすぐに走って帰り、母にその話をした。気付いた時には妹と声を揃えて「飼いたい!」と言っていた。両親は少し困っていたが、私達の願いを聞き入れてくれた。その犬には「ジョン」と名付けた。

一緒に暮らし始めると不思議と可愛く見えてくる。今まで嫌いだったのが嘘のように思えた。いたずらっ子で、大変な思いも沢山した。13年間一緒に過ごし、数年前に病気で亡くなってしまったが、大嫌いを大好きに変えてくれたジョンに、とても感謝している。
そんな事を思い出しながら、今日も構ってくれない愛犬と添い寝をし、癒されている。

「呉羽・まいもん広場」開催!

呉羽の美味が大集合!



富山市ファミリーパークが会場とあって、親子連れのお客様も多く、行列が絶えないほどの賑わいでした。

近隣の方々にお得な価格で提供。
地域交流、社会貢献に

採算は度外視。地域の皆さんに喜んでもらいたい

メニューの中でも目を引くのは、めひの野園の「特製親子丼」。実行委員会の話し合いの中で「ぜひやりたい!」との声が上がりました。飛騨地鶏肉、平飼卵、椎茸というめひの野園の特産品がコラボレーションした料理で、みんなが「これなら自信をもってお客様に提供できる」と直感しました。しかし、その後の試作は困難を極めました。味にうるさい中田園長のチェックを何度も受け、何とか及第点をもることが出来ました。また、味はもちろんのこと、こだわったのは「色」。素材の色を損なわないように試行錯誤を繰り返し、ようやくみんなが納得出来る一品に仕上がりました。



めひの野園で生産された飛騨地鶏肉、平飼卵、椎茸を使用した「特製親子丼」

そんな苦労の末に完成した「特製親子丼」の美味しさのポイントは、味のべー

スとなる白だしと、隠し味の「椎茸茶」。素材の味を損なわないように工夫しました。

「採算は度外視」というだけあって、この親子丼の価格は驚きの150円。その他、「飛騨地鶏の串焼き」は通常一本200円のところを80円という特別価格で販売。「近隣の方々にお得な価格で楽しんでいただきたい」という思いが込められています。

調理場では、「蕎麦処樹樹」と「蕎麦道場」の皆さんが大忙し。ちょうど新蕎麦収穫の時期に、打ち立ての蕎麦が食べられるという何とも贅沢な旬の味覚です。「寒い中での温かい蕎麦は格別」と、お客様も絶賛でした。



「蕎麦処樹樹」さんでは日頃からめひの野園の椎茸を使って頂いている他、「45 cafe」さんの「特製プリン」には、めひの野園の平飼卵が使われているなど、今回の企画では、日頃の地域との繋がりが活かされました。今後このようなイベントを通じて、より多くの方に喜んでいただき、当園の取り組みに対する理解を深めていただけたら幸いです。

(営業・販売課 野嶽 眞希子)

11月19日(日)、富山市ファミリーパーク「ふせん広場」で、「呉羽・まいもん広場」が開催されました。めひの野園自慢のメニューに地域の名店の品々を加えた「呉羽の美味しいもの」を集め、お得な価格で食事を楽しんでもいただくことで社会貢献に繋げるとともに、地域との交流を深めることを目的に企画しました。

当日は寒い中にも関わらず、11時の開店を待ちきれず模擬店の前には長蛇の列。予定よりも幾分早めの開店になりました。

「呉羽の美味しいものを集めた」この企画。用意されたメニューは、

- ・めひの野園「飛騨地鶏の串焼き」
- ・「特製親子丼」
- ・蕎麦処 樹樹「温かい蕎麦」
- ・竹田精肉店「コロッケ」
- ・こまお「回転焼き」
- ・45 cafe「特製プリン」

と、地元で愛されている人気の品々。その他、ソフトドリンクやビール、日本酒も販売されました。

こんな支援が あったまる!

第6回「めひの職人たち」紹介します!
～職人技を輝かせる支援～

めひの野園で取り組まれている「合理的配慮」による支援。「こんな支援があったのか!」と思わず○をつけたいような心温まる支援を紹介します。

めひの野園では、利用者さんの「出来ること」「好きなこと」「得意なこと」を作業に繋げることで、様々な商品が作られています。利用者さんの中には、自らの作業に没頭して取り組むうちに卓越した技術を身に付け、いつしか「職人」と呼ばれるまでになった方がいます。

今回は「やねのうえのガチョウ」のパン製造に欠かすことのできない「鉄板磨き職人」と、「ウォーム・ワークやぶなみ」で飛騨地鶏の串製造を行い「串刺し職人」と呼ばれる2人の利用者さんを紹介しします。

支援の Point ここが○

ディーセントワーク（やりがいのある仕事）
経験の中から得意なことを活かす



鉄板を磨く姿は真剣そのもの

8時30分に出勤してから、16時の作業終了まで、Sさんはひたすらパン焼き用の鉄板を磨き、油を塗る作業に取り組めます。Sさんはどんなパンを焼いた後でも、残った汚れを驚くほどきれいに落とし、その後、鉄板全体に均一に油を塗っていく作業が出来ます。

Sさんには、以前別のパン屋で働いていた経験があります。その時も今と同じように鉄板磨きに取り組んでいました。その時の経験で身に付けた得意技を活かし、今も変わらず鉄板磨き作業に取り組むSさん。自分のすべき仕事があり、それを周囲から認められることでやりがいを感じ、安心して作業に取り組むことが出来ています。

時には職員がSさんの職人技を見て教わる場面もあるとのこと。汚れの落ちにくい鉄板があると、ただ磨き続けるので

はなく、スプレーで水を吹き付けながら汚れを落とすというテクニク。誰から教わったのでもなく、Sさんが今までの経験で身に付けた技術を日々の作業の中で発揮してくれています。

夏場は気温の高さにオーブンの熱さが相まって、作業場が30度以上になるときもありますが、毎日120枚から130枚もの鉄板をしっかりと磨いてくれます。

毎日変わらず鉄板を磨く作業があり、得意なことが発揮できることで、Sさんの職人技が輝き、おいしいパン作りへと繋がっています。

支援の Point ここが○

作業の構造化
職員と二人三脚で何度
も練習

今やめひの野園の名物となった「飛騨地鶏の串焼き」。その飛騨地鶏の串を一日で約500本も製造しているのはYさん。串焼きには6種類あり、実はそれぞれ刺し方が違います。その6種類の串を自由自在に刺していく速さと集中力には圧倒されます。

現在のような串刺し職人となるまでには、職員と二人三脚で何度も何度も繰り返し練習を行いました。そして、ただ繰り返し練習をするだけではなく、作業の構造化も行いました。

色違いの5枚の皿に地鶏肉を用意して、皿から一つずつ肉を取って刺していく

と、5切れで1本の串が出来上がります。そして、皿の肉がなくなったら「作業が終わり」ということをYさんに示し、作業の見通しが立つようにしました。また、肉刺しをするまな板には見本の串を置き、職員が横に座って同じ作業を行うことで、正しい刺し方を見て、正確な作業が出来るようにしました。



このように5色の皿に分けられた肉を順に刺し、串を作っていきます

串刺しの技術を完全に身に付けた今では、5枚の皿は必要なくなりました。職員が肉を切る横で、次から次へと串に刺していきます。そして、そのスピードや集中力から「串刺し職人」と呼ばれるようになりました。

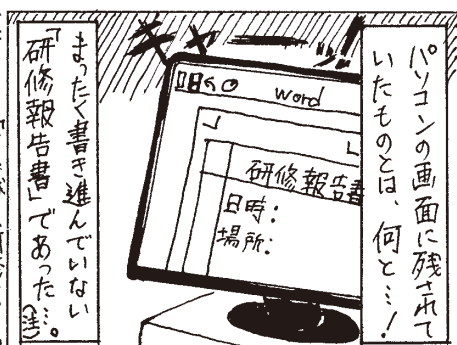
作業の構造化を行い、分かりやすく作業を提供したこと、そして諦めずひたむきに練習をしたYさんの努力が今の職人技を生み出しました。

他にも商品製造の現場では、それぞれの得意技を活かして活躍している「職人さん」がいます。今後もそんな職人技を輝かせ続けてほしいと思います。

(広報委員会 上田 智華)

いたけん

第45回 大人になっても冬の宿題...!!



(描・おかちん)

めひのスポーツ

野球部シーズン終了

Q: 今季を振り返って
— 今季は、声を出してチームの雰囲気づくりに努めたシーズンでした。特にセカンドというピッチャーに近いポジションを守っていることもあって、頑張っている精度を上げ、チームに貢献していることを心げました。

Q: 来季の展望は?

— 来季もめひの元氣印「熱男」としてチームを盛り上げていきたい。そして守備の精度を上げ、チームに貢献したいです!

岩城聡

Iwaki Satoshi

チーム内 MVP は岩城

(ウォーム・ワークやぶなみ)



Q: 四・死球王の感想は?
— 四球が多いということはそれだけ相手投手から勝負を避けられたということで、4番打者として名誉なことだと思います。

Q: 来年の抱負は?
— チームの和を大事にして一丸となつて全国大会での上位進出を目指したい。チームの先頭に立つて頑張りたいです。

Murozawa Hisashi



室澤尚史

呉羽リーグ四・死球王

久郷凌

呉羽リーグHR王



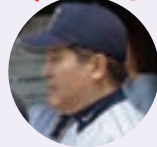
Kugou Ryou

Q: 印象に残った本塁打は?
— 3本目の本塁打です。球種は内角高めめのストレート。この日は寝坊してしまい、監督に「坊主だ」と言われたプレッシャーをバネに打てたと思っています!

Q: 去年と変わった部分は?
— スイングスピードが向上しました。素振りなどの地道なトレーニングの成果が表れたと思っています。

まずは今シーズンを戦い抜いた選手たちには「お疲れさま」と言いたい。結果はともかく、仕事の合間に練習に参加して、早朝の試合に出るというモチベーションを維持しているのは偉いよね。技術的な部分やセンスを磨くというのはなかなか難しいけど、精神的な部分で盛り上げていくのは大事。その意味では今年 MVP に選ばれた岩城選手は、試合中や練習中も元気づけ声を出してチームを盛り上げていた。数字的な部分ではなく、そういった精神的な部分が評価されたんじゃないかな。

東真盛の



セメルも
マメルも!

2017年度チーム成績表

6	5	4	3	2	1
かね七太協 (富山新聞杯)	スナイパーズ (呉羽リーグ)	OSCAR JJ (練習試合)	バフリンズ (呉羽リーグ)	富山消防 (北日本新聞杯)	If, d (練習試合)
3-6 ●	8-4 ●	4-1 ●	7-0 ●	0-5 ●	0-4 ●
12	11	10	9	8	7
パルマラット (呉羽リーグ)	サカキ産業 (呉羽リーグ)	ラフランズ (呉羽リーグ)	焼肉 慶 (呉羽リーグ)	ヒップヒッターズ (呉羽リーグ)	セーナー苑 (福祉野球北陸予選)
13-1 ●	0-1 ●	3-4 ●	2-5 ●	8-1 ●	1-2 ●

ご寄付ありがとうございました。

(H29・8・28～H29・12・25) 敬称略

佐藤理容院

西金屋自治会

石橋孝史

高岡第一学園

五十嵐 務

村家 博

島倉孝子

牧田修明

片田 弘

金城大学

富山福祉短期大学

鈴木 智 絵

新潟福祉医療学園

(特非)愛知報恩会

高見悦子

松岡道子

花木チエ子

川原田敏子

森新樹園

めひの野園保護者会

富山国際大学

廣田美千代

沖村富美子

(福)富山県社会福祉協議会

竹本 潔 史

富山大学

寄付金振込口座番号

北陸銀行五福支店

普通預金4041542

社会福祉法人 めひの野園

店番号140

後援会名簿

(H29・8・1～H29・12・11) 敬称略

藤井慶子

青木良成

浅井貴代美

石政明美

金川弘行

草開雅子

杉木良子

杉本明久

富堂聖子

中村有一

成田昭二

西孝浩

野村利美子

廣田雅俊

水口良一

石川権一

富山市

富山市

富山市

富山市

富山市

富山市

富山市

富山市

富山市

富山市

富山市

富山市

後援会振込口座番号
北陸銀行五福支店 店番号140
普通預金4250590
めひの野園後援会

来訪者

(H29・8・30～H29・12・1) 敬称略

糸魚川市市民部福祉事務所

水嶋 文明

吉岡 秀子

NGOダイバーシティとやま

宮田 妙子

衆議院議員田畑裕明事務所

今田 孝範

参議院議員野上浩太郎事務所

茶木 武

北日本新聞社

谷井 康彦

富山新聞社

木下 裕輔

富山新聞販売(株)

奥澤輝美代

厚生労働大臣政務官・衆議院議員

田畑 裕明

(株)篠川組

古井 克

進々堂商光(株)

田邊 健一

品川商事カンパニー

中井 宏行

国立障害者リハビリテーション

センター自立支援局 秩父学園

渡邊 浩伸

山本 忠直

富山労働局

松原 元範

(株)浪速電機工業所

藤城 彰

北陸銀行

荒井 伸介

(福)清水基金

原田 健児

(福)上越福祉会かなやの里ほほえみ

本間 倫子

(福)檀原ふれあいの里福祉会ひだまり

上田 玲子

(福)よさのうみ福祉会

障害者生活支援センター結

故金佳代子

(福)けやきの郷やまびこ製作所

星野 武史

日本海ツーリスト

村田 慎弥

北陸三愛石油(株)

尾上 浩章

北陸電力(株)

北村 和久

沢田 明彦

テンブラス(株)

若林理紗子

(株)淀川ランドリー

栗田 高志

(福)みどり福祉会

白江 秀幸

障害者支援施設若狭野荘

垣見 美香

(福)愛知県厚生事業団

渡邊 強人

富山石油(株)

銭貫 克彦

富山市福祉保健部障害福祉課

恒川 貴志

衆議院議員田畑裕明事務所

吉田 格

(株)インディペンデント

高原 理

インキュベータ

城田 勇河

藤木工業(株)

林 恵李奈

(株)婦中興業

藤木 幸雄

富山家庭裁判所

春田 真一

北陸電力(株)

渡邊 久治

(株)西田工務店

中島 忍

富山県立しらとり支援学校

温井 淳一

(福)新川会

荻布知寿子

(株)ディライフ

川上 邦夫

野島真裕美

千田 英雄

遠田 幸則

編集後記

この号が発行される頃には、同い年の安室奈美恵さんが出場する紅白を見終え、本厄の厄払いも終わり、そして昨年1月9日に亡くなられた中田勉前理事長の二周忌が過ぎていることだろう。

昨年発行された「婦負の野」111号では、前理事長を偲び、めひの野園創設からの軌跡をたどる特集に取り組んだ。制作作業は大変だったが学ぶことも多く、創設時の数々のエピソードには心を打たれた。そして今、こうしている間もまた様々なことが胸に蘇る。

10年ほど前になるが、春の歓送迎会の席で、「おいまあ、ちよとこつち」と声を掛けられ、お酒をいただいたことがあった。前理事長が店に持ち込まれたお気に入りのお酒で、その美味しさは驚きだった。お酒の名前は「メ張鶴」。その年の職員旅行の行き先は新潟県村上市で、蔵元を訪れたのも粋なはからいだっただと思う。「幻の酒」と言うだけあつて蔵元でも数が少なく、手に入れたのは2本だけ。1本は自宅用。もう1本は学生時代からの友人と飲んだ。「この酒が旨いんだよ」と友人に勧めたとき、えらく大人になったような気がしたものだ。

さて、今号は新年最初の号ということで、テーマは「新」。新イベント「まいもん広場」や、新しく生まれ変わった体育館、みしまの工房など、「新」を感じられる特集を組んだ。新年を迎え、お酒は程ほどにし、気持ちを新たに頑張りたい。

岡崎 記